

別議第4-0147号

平成28年12月12日

別府市長 長野 恭 紘 殿

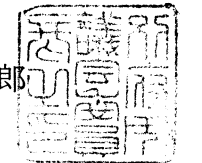
別府市議会

議長 堀 本 博 行



決算特別委員会

委員長 黒 木 愛一郎



平成28年 決算特別委員会 審査意見書について

平成28年 第3回 市議会定例会 本会議において、継続審査に付された「議第84号 平成27年度 別府市一般会計歳入歳出決算の認定について」から「議第91号 平成27年度 別府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について」までの計8議案については、決算特別委員会にて審査された後、第4回 市議会定例会 本会議において、下記の意見書を付して認定すべきものと決定いたしましたので、提出いたします。

記

- 1 平成28年 決算特別委員会 審査意見書

別紙添付

## 平成28年 決算特別委員会 審査意見書

### 1 事業評価について

人口減少・超高齢社会に伴い市税等の自主財源の確保は難しい状況にあり、限られた財源の中で、住民サービスの質の向上を実現する必要がある。

よって、様々な観点から事業の評価を行い、必要な改善を速やかに加える事を求める。

また、その内容を市民や議会に開示することで、行政運営の透明性の確保と住民の理解を得る事を求める。

次年度の決算審議においては、より質の高い審議を実現するために、当該年度の事業評価に関する所見および次年度以降に行った改善点等の報告を検討することを求める。

### 2 各種団体等への補助金制度について

平成26年 決算特別委員会（平成25年度 各会計決算分）、各種団体等への補助金制度についての附帯決議がなされた。その具体的内容は、次の3点であった。

1. 補助金の申請書や実績報告書等に課題や成果目標等を明確にする為、より詳細な様式に変更すること。

2. 各種資料は、インターネット等を通じて、市民に開示することで透明性の確保を行うこと。

3. 事業成果の評価に対して、担当部署だけでなく、第三者などによる評価の導入を検討すること。

今年（平成28年）の決算審議において、上記 履行の確認を行った結果、1及び2については、書式や規則の改正などにより対応されたことが確認できたが、各課への浸透が不十分であったことが判明した。

従って、以下2点への対応を改めて求める。

1. 改正された規則の周知と規則に沿った運用の徹底を図ること。
2. 第三者などによる評価の導入を検討すること。

### **3 観光関連情報について**

別府市の主要産業である観光産業の振興において、別府来訪の動機づけにつながる質の高い情報の発信は重要である。

近年は外国人旅行者が急速に増加傾向にあり、観光地間の集客競争は激しさを増している中で、海外に向けた情報発信の重要度は極めて高く、質・量ともにその充実を図ることを求める。

よって、情報発信の中核を担う観光関連の公式ホームページにおいては、十分に改良や運用ができる予算の確保を行うとともに、事業の企画・執行については、現場を支えている関係諸団体等との連携を重視の上、実施することを求める。

### **4 健康寿命を延伸する取り組みについて**

人口減少・超高齢社会の到来により、厳しい財政運営が迫られる中で、医療費の抑制は、財政の健全化に必要不可欠と考える。

よって、健康寿命を延伸する取り組みを全庁的な推進体制のもとで、実施することを求める。

### **5 プロポーザル（提案型）方式による契約について**

プロポーザル（提案型）方式による契約においては、その透明性と公平性の確保を求める。

また、契約方法については、全庁的な指針（ガイドライン）等を定め実施することを求める。

### **6 次年度予算編成への反映等について**

決算審査における議会の意見書を次年度予算に反映させるよう求めていくことは、決算と予算を一体とした審議サイクルの確立に繋がり、議会審議の充実に資するものである。

よって、本意見書を平成29年度 予算編成に反映させるよう求めるとともに、その経過及び結果を議会に対して報告を検討することを要望する。